

1. 背景と目的

’22春大型アウトレットモールが開業。また、科学館の移転新設など市のミュージアムパーク事業も並行して推進され「文化施設とショッピングが融合した一大拠点」が誕生し、数百万人規模の来訪が予測される。併せて、本市では、国が公募しているスーパーシティ構想について、東田地区での実現に向けた提案を検討しており、「新たな街づくり」への期待が高まっている。



新たな街づくりに向け東田MaaSプロジェクトを設立し「移動・交通分野」課題解決に取り組む

- ・東田地区の回遊性向上による地区の魅力向上
- ・渋滞解消、アクセスの利便性向上など周辺の交通流円滑化による地域との共存共栄
- ・小倉、黒崎との往来性向上による北九州市の魅力向上

2. 目標

STEP1 (～2024)

狭域MaaS： 東田地区の移動手段と移動サービスの構築

STEP2 (～2027)

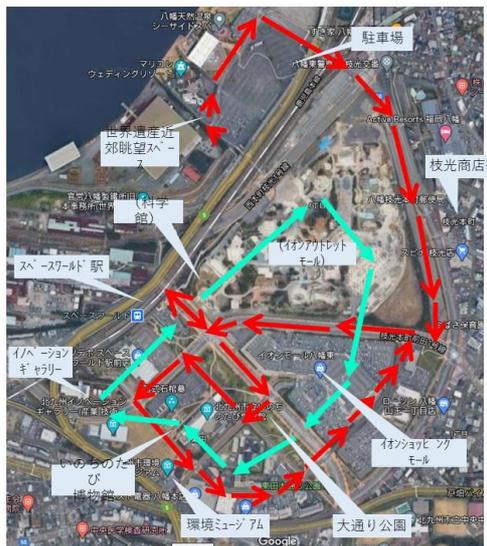
中域MaaS： 東田周辺地域の移動サービスと交通システム構築

STEP3 (～2030)

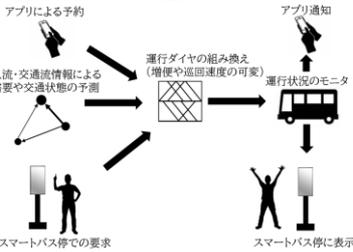
広域MaaS： 小倉、黒崎、福岡方面との往来移動サービス構築



<STEP1 の概要 (’22年度より開始) >



① デマンド巡回バス



eCOM10

- ・状況に応じてダイヤ・経路をフレキシブルに変更
- ・スマートバス停
- ・自動運転化

② パーソナルモビリティ

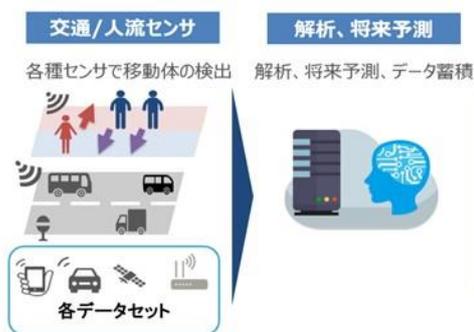


ILY-Ai： アイシン精機

WHILL： コンピューターサイエンス研究所

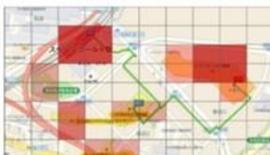
- ・バス停～施設内にシームレスな運行
- ・自立走行による「お迎え」「帰巢」

③ MaaSプラットフォームを活用したサービス



データ活用サービス

③-1 移動支援情報として渋滞情報、3密情報をアプリ等にて提供



③-2 信号制御による交通の円滑化

